



「ビオトープながおか」は、地域のいきいの場を創出することに加え、自然豊かな長岡地区の多様な生き物が生息できる空間を創造することを目的に、農林水産省の補助事業である経営体育成基盤整備事業により、愛知県が整備したものです。

### 施設整備の特徴

魚の棲み家として池内に設置した木製沈床は愛知県産の間伐材を用いるなど、資源の有効活用に努めました。また、あずまや、パーゴラには愛知産のひのきを用いるなど愛知県産木材の利用にも積極的に取り組んでいます。

### 事業概要

事業名：経営体育成基盤整備事業  
地区名：愛知県稲沢市祖父江町長岡地区  
事業年度：平成17年度～平成22年度  
事業主体：愛知県  
管理者：稲沢市  
委託管理：NPO Longhill Net（ロングヒル ネット）

### 水源

「ビオトープながおか」の水源は、木曾川用水海部幹線水路の馬飼東分水工から取水する農業用水（循環利用）を利用して馬飼東分水工から既設用水路（U字溝）を流下する農業用水をビオトープながおか地点にて取水枡を設けて取水ポンプ（直径80mm）により、せせらぎ水路へ揚水し、池へ導水しています。

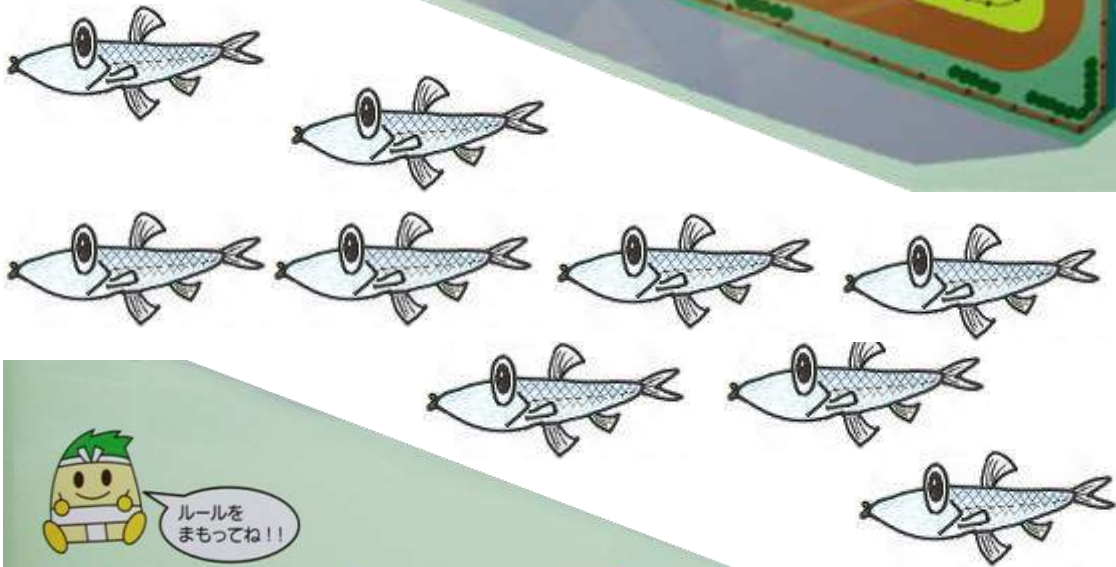
池へ導水した用水は、下池西側に設置する放流枡部において循環ポンプ（直径50mm）により、再度せせらぎ水路まで圧送し、一定期間（4月～9月1週間程度・10月～3月2週間程度）循環利用した後、上池東側の放流枡（放流路）から既設用水路へ戻しています。

## ビオトープながおか身体検査

開園：平成23年4月20日

全体：面積1338平方メートル

池：満水面積282平方メートル 貯水量133立方メートル



ルールを  
まもってね!!



ペットはリードを付け、  
飼い主まで責任を持って  
糞の始末をしましょう。



たき火、バーベキュー等  
火の使用はやめましょう。



ゴミは持ち帰り  
ましょう。



ゴルフクラブ、バットの  
使用はやめましょう。



車両の乗り入れは  
やめましょう。



池の中の魚をとったり、  
つりをしないでください。

## ビオトープとは？

特定非営利活動法人 日本ビオトープ協会のホームページから以下に引用させていただきます。

ちょっと前まではなかなか会話にも出てこなかった「ビオトープ」という言葉。今では誰もが違和感なく受け入れてくれてますね。最初は環境保全や野生生物保護に取り組んでいる専門家の人たちが使っていた言葉のようですが、最近では、一般に広く言われるようになり、いろいろな意味で使われるようになりました。

ビオトープについて多くの人を知るようになったのは良いことですが、今では意味がたいへん多様化しているようです。よくビオトープって？という質問に対して、— 生命：バイオ bio と場所：トポス topos の合成語で生物の生息空間のこと— という答えを耳にしますね。では、もっと具体的にビオトープってなんだろうと考えてみましょう。

たとえば、シオカラトンボが卵を産み、ヤゴが育つ小さな池は、シオカラトンボのビオトープといえますね。でも、トンボは小さな池だけで一生を過ごすわけではないので、成長段階や季節ごとに様々なタイプのビオトープが必要になってきます。すると、やヤゴの小さなときの小さな池もトンボになってからの生息域も全てビオトープということになってきます。そこで、もう少し大きく考えていくと、トンボが飛んでいく森林や湖沼、草地 河川 湿地 十湯 岩場 砂地なども、その地域に住むさまざまな生き物が地域固有の自然生態系を構築していればすべてビオトープといえるわけです。

このように小さなビオトープから大きなビオトープまで、また、比較的自然度の低いビオトープから、自然度の高い多様なビオトープまで多くの解釈がなされるようになってきました。「ビオトープながおか」は公園（憩いの場）型ビオトープです。

我が国でも多くの自然が破壊された今、残された貴重な生物生息空間としてのビオトープを保全したり、消失したところを復元、創出することがますます重要な社会活動になってきています。現在、この地区に生息しているメダカを地域の子供たちに育ててもらって増やす「ながおかメダカ里親事業」を計画しています。

## 児童のみなさんへ

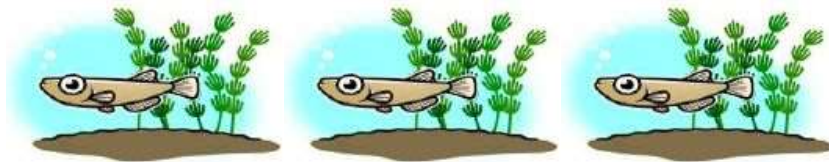
わかりやすくいうと、ビオトープというのはもともと自然に生き物がくらしている場所をいいます。

自然のかたちは山、のはら、川、海などにわけることができ、それぞれの場所をすきな木や草が住んでいます。木や草はこのわけかたでおおくのしゅるいをわけることができます。でも、どうぶつはいろんな場所をうごきながら生きていますので、山や川といった場所によるわけかたでは、どうぶつをわけることはできませんね。そこで生きものたちが生きていくためのかんきょうを守ることをかんがえるためにビオトープというかんがえかたができました。

私たちがくらしている「長岡」は、たんぼやはたけがたくさんあります。だから、自然がいっぱいあると思いますが、本当は、せいびされたたんぼや畑で、人間が草をかったり、土をたがやしたりして生きものをおい出しています。自然の生きものが安心してくらせるところは川のふちの草の中とか、神社の木の上などのほかにはあまりありません。

そこで、一とても小さい池ですが、このちいきの生きものがくらせる自然の場所＝ビオトープを作ってあげて自然の生き物が安心してくらせるといいですねーと「ビオトープながおか」を愛知県の方たちが力をあわせて作ってくれました。ふつうの公園はきれいな花をうえて人のゆうせんをかんがえますが、ビオトープはそこに生きる「生きもの」のゆうせんを考えなければなりません。

「ビオトープながおか」にはメダカがくらしています。メダカをおどろかせないように気をつけて私たちもできることがあればきょうりよくしましょうね。



くわしくはホームページ <http://longhillnet.web.fc2.com/> みてね！